

伊佐の近現代 / 未来

これまでのと 百年

これからの 100年

日付

2026年

3月20日 金・祝

定員 200名

参加費 無料

ご予約はこちら



時間 13:00～16:00

場所 菱刈環境改善センター（伊佐市）
〒895-2701 鹿児島県伊佐市菱刈前目251-1

第1部 講演 13:10～14:10

第2部 トークセッション 14:30～15:50



「近現代における伊佐の繁栄
～牛尾金山、曾木発電所、
国鉄山野線、
そして大口高校を切り口に～」

吉満 庄司
鹿児島県立大口高等学校校長

「伊佐の〈未来〉」司会 松田 忠大(鹿児島大学法文学部教授)



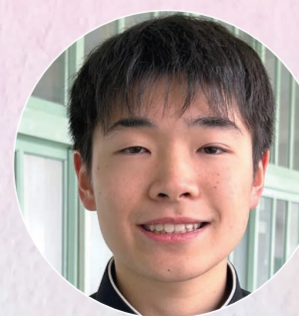
橋本 欣也
伊佐市長



猩々 由美子
猩々農園株式会社
取締役



井ノ原 大成
伊佐アシスト
合同会社代表



林 優希
鹿児島県立
大口高等学校2年



山中 雪嘉
鹿児島大学
大学院1年

主催／鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」教育研究センター・鹿児島県立大口高等学校
後援／伊佐市

お問い合わせ

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」教育研究センター
TEL: 099-285-7532 E-mail: kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp

プログラム

- 13:00 開会・主催者挨拶
13:10 第1部 講演: 吉満庄司(大口高校校長)
「近現代における伊佐の繁栄
～牛尾金山、曾木発電所、国鉄山野線、そして大口高校を切り口に～」
14:10 休憩
14:30 第2部 トークセッション: 「伊佐のく未来」
話題提供「統計から見える伊佐のく現在」
日高優介(鹿児島大学 特任助教)
司会 松田忠大(鹿児島大学 教授)
登壇者 橋本欣也(伊佐市長)
猩々由美子(猩々農園 取締役)
井ノ原大成(伊佐アシスト合同会社 代表)
林 優希(大口高校 生徒)
山中雪嘉(鹿児島大学 大学院生)
15:50 閉会・主催者挨拶

開催主旨

鹿児島県の北部に位置する伊佐市は1980年に38,000人いた人口が2020年に24,000人へと高い水準で減少しています。そこで、昭和元年から100年の経過を機に伊佐の未来について考えるシンポジウムを企画しました。本シンポジウムでは、<第1部>伊佐の過去についての講演から地元への愛や観光資源について理解を深め、<第2部>これからの伊佐のまちづくりについてのトークセッションから人々の考えを共有することで、伊佐の未来について考えていきましょう。

講師紹介



吉満 庄司(よしみつ しょうじ)

昭和40年、鹿児島市生まれ。平成3年、鹿児島大学大学院人文科学研究科修士課程修了。県立高等学校教諭、県歴史資料センター黎明館学芸専門員、県総合教育センター研究主事、県知事公室政策調整課専門員、県明治維新150周年推進室専門員等を経て、現在は県立大口高等学校校長。専門は幕末薩摩藩の対外関係史で、国内外で講演等を行う。鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター客員研究員、西郷南洲顕彰会専門委員、鹿児島日英協会理事、鹿児島鳥史談会副会長を兼任。主著に『激動の明治維新』、『明治維新と郷土の人々』、『近現代日本人物史料情報辞典』(いずれも共著) 主な論文に「五代友厚の開明生を育んだ家庭環境」、「薩摩藩英国留学生書簡集成」、「薩摩藩とパリ万国博覧会」、「西南戦争と大口」、「海音寺潮五郎が描く西郷隆盛」など

パネリスト紹介



橋本 欣也(はしもと きんや)

昭和39年4月18日生まれ。熊本県上益城郡矢部町(現・山都町)出身。熊本県立矢部高等学校卒業。昭和58年に林野庁大口営林署に入署し、平成元年に退署。その後、平成4年に大口市役所へ入庁。平成20年の伊佐市発足に伴い伊佐市役所職員となり、令和元年には伊佐市教育委員会社会教育課長を務める。令和2年3月に市役所を退職し、同年11月に伊佐市長に初当選。令和6年11月より第2期目の市政運営にあたっている。



猩々 由美子(しょうじょう ゆみこ)

昭和38年7月23日生まれ。昭和57年3月鹿児島県立大口高等学校卒業。平成29年9月1日会社設立(猩々農園株式会社)取締役就任。既存の農業(米・トマト)に加え、伊佐米を広めたく、お米で出来る加工品製造をと平成31年にあまざけを販売開始、その後、あまざけをそのまま食べられるよう、「食べるあまざけさつまの雪」を令和3年に販売開始。その後、東京等での商談会に出展し、少しずつ取引先も増え、伊佐米の認知に貢献中。現在、米粉を使ったパンに取り組んでいる。



井ノ原 大成(いの はら たいせい)

東京で生まれ育ち、高校2年生の時、コロナ禍の余暇時間を活用し事業を開始し、高校3年生で売却。この成功体験により高校卒業後にVR・AI領域の会社を東京にて起業。リモートワークがベースながら東京にいることに疑問を感じ、父の故郷伊佐市に移住し、地方企業のIT・AI活用を支援する「アシストグループ」を経営。その後、「イサアシスト」を起業し、「地方企業にとってちょうどいいIT担当」になるべくIT全般の支援を行っている。現在22歳



林 優希(はやし ゆうき)

伊佐市菱刈出身、鹿児島県立大口高等学校2年生。歴史に興味を持ち、総合的な探究の時間では「菱刈の歴史」をテーマに研究している。「大口城を愛する会」主催の大口城巡検では案内役を務めるなど、地域の文化財保護についての関心も高い。卒業後は大学でさらに歴史学を学びたいと考えている。



山中 雪嘉(やまなか ゆきか)

鹿児島県出身、鹿児島大学大学院理工学研究科工学専攻建築学プログラム1年。まちづくりについて学びたいと思い、大学4年次から持続型地域計画研究室に所属。2025年4月より、20年後の伊佐市について大口高校1年生と考えるプロジェクトに研究室のメンバーとともに参加し、11月末の市長プレゼンまでのファシリテーターを担当。20年後の曾木の滝公園の活用を考える中で、伊佐市の現状について学ぶ。大学院修了後は、県内の工務店で建築設計の仕事につく予定。



会場 伊佐市菱刈環境改善センター

鹿児島県伊佐市菱刈前目251-1



Googleマップ